

平成30年度東北大学東北アジア研究センター公募型共同研究成果発表シンポジウム
「東北アジアを中心としたアジア地域における動物資源
利用問題と「人間性」-生業、娯楽、奢侈の観点から-

【日時】 2018年12月23日（日） 10:30-17:00

【場所】 東北大学東北アジア研究センター大会議室

【プログラム】

10:30-10:40 趣旨説明

テーマ【生業】

10:40-11:10 大石侑香（国立民族学博物館学術資源研究開発センター・特任助教）
シベリアの毛皮動物の狩猟と世界システム-女性の欲望に着目して

11:10-11:40 辻 貴志（佐賀大学大学院農学研究科・特定研究員）

フィリピンの鳥の狩猟と「人間性」-なぜヒトは小さきものを狩るのか？

11:40-12:40 昼休み

テーマ【娯楽】

12:40-13:10 相馬拓也（早稲田大学高等研究所・講師）

カザフ・イーグルハンターと騎馬鷹狩文化にみるエコロジーとヒューマニティ

13:10-13:40 広田 勲（岐阜大学応用生物科学部・助教）・横山 智（名古屋大学環境学研究科・教授）・INGXAY, Phanxay（ラオス農林省政策法律局・副局長）

ラオス北部の闘牛/肉牛飼育と焼畑システム

13:40-13:55 休憩

テーマ【奢侈】

13:55-14:35 風戸真理（北星学園大学短期大学部・専任講師）

動物飼育の標準化と個別性-北海道のロボット酪農とモンゴル動物文化の多様化

14:35-15:05 野地恒有（愛知教育大学教育学部・教授）

〈奢侈=愉悅のかたち〉としての改造技術-日本の金魚（ジキン・トサキン）

15:05-15:20 休憩

15:20-15:30 コメント①高倉浩樹（東北大学東北アジア研究センター・教授）

15:30-16:00 コメント②蛭原一平（国立民族学博物館・外来研究員）

16:00-17:00 総合討論

※本シンポジウムは申し込み不要（無料）です。自由にお越しください。また、シンポジウム後に懇親会（会費1人あたり3980円。人数制限有り）を催します。以上、奮ってご参加願います。

■問い合わせ先

辻 貴志（takashitsuji@Hotmail.com）

